伊豆・東部

晴れ着姿で成人祝う

富士の障害者施設 ボランティアが着付け

富士市の障害者支援施設「県立富士見学園」で28日、ボランティアが2018年度に成人を迎えた女性利用者2人に着付けとヘアメークを施した。2人は人生の節目を彩る晴れ着姿を披露し、家族や職員から祝福を受けた。

華やかに着飾ったのは遠藤桃さん(20)と富高幸恵さん(20)。市内でヘアサロンを経営する「ビューティミウラ」の三浦新次郎代表らが髪形や化粧を整えた後、県東部のボランティアグループ「花かんざし」のメンバー5人が振り袖を着付けた。

遠藤さんと富高さんは周りから「かわいいよ」と声を掛けられると、鏡を見て笑顔を浮かべた。遠藤さんの父・知広さん(53)は「女の子なので、こういう形で祝えて良かった」と目を細めた。

ボランティアに振り袖を着付けてもらう遠藤さん（左から2人目）と富高さん（右から2人目）＝富士市の富士見学園

園児が横断歩道の正しい渡り方学ぶ

裾野署が教室

裾野署は28日、裾野市御宿の市立富岡第一幼稚園で交通安全教室を開いた。

節分にちなみ「交通ルールを守らない〝飛び出し鬼〟をやっつけろ」というテーマで交通安全指導員らが事故に遭わないための心得を教えた。車に乗る時はシートベルトを締めてチャイルドシートに座ること、道路を横断する時は左右を確認し手を挙げて進むことなどを説明した。

幼児60人は、正しい横断方法を実践した後、豆に見立てたボールを〝飛び出し鬼〟の絵に投げつけて「飛び出しはしません」と力強く宣言した。

2018年に同署管内で起きた未就学児の事故は、17年から9件減の11件だったという。

正しい横断歩道の渡り方を学ぶ幼児＝裾野市立富岡第一幼稚園

高校会議所が「芸術の集い」

富士宮、演奏披露

富士宮市の高校生らでつくる富士宮高校会議所は26日、地域活性化イベント「第2回真冬の芸術の集い」を同市の西町レトロ館で開いた。地元ゆかりのメンバー2人が出演し、ボサノバの名曲で会場を沸かせた。

妹尾良華さんがギター、谷沢周子さんがユーフォニアムでボサノバの有名曲や日本を代表する童謡などを披露した。会場には良華さんの父で洋画家の昭一さんが手掛けた富士山の絵画を展示。良華さんが絵の概要や画材について解説した。

集まった市民ら約30人は、絵画作品を鑑賞しながら間近に繰り広げられる演奏に聴き入り、芸術の共演を楽しんだ。

開会に先立ち、同会議所の設立や運営にアドバイザーとして関わった渡辺英彦さん（富士宮やきそば学会会長、昨年12月19日逝去）への哀悼の意を込め、黙とうをささげた。

ボサノバの曲などを披露したイベント＝富士宮市の西町レトロ館

感想文入賞者ら表彰

井上靖しのび「あすなろ忌」 伊豆

伊豆市湯ケ島で幼少期を過ごした文豪井上靖をしのぶ「あすなろ忌」（市教育委員会、井上靖ふるさと会、劇団しろばんば主催）が27日、同市湯ケ島で開かれた。

市役所天城湯ケ島支所では全国から応募のあった井上作品の読書感想文・風景画コンクールの表彰式が行われた。計646点の応募の中から感想文小学生の部は天城小6年の熊切優那さん、風景画の部は修善寺中3年の佐藤碧さんがそれぞれ最優秀賞に選ばれ、西井伸美教育長が表彰状を手渡した。

表彰式後には天城会館で市民劇団「しろばんば」による「幼き日しろばんば」と題した公演も行われた。

市内では同日を皮切りに「伊豆文学まつり」と題し、文学散歩やゆかりの映画上映会などの催しが開かれる。市と市教委が主催し、3月3日まで。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り（県内関係）。

【感想文】優秀賞 塩谷徳啓（中伊豆小6）杉山水芳、浅田唯愛、高橋希空（天城小6）▽ふるさと賞 浅田悠花（天城小6）山下夏樹（中伊豆中1）

【風景画】優秀賞 斉藤廉人（修善寺東小5）芹沢奏太郎（修善寺南小6）▽佳作 新井佑梨（三島南高1）

コンクールの表彰式などが行われた「あすなろ忌」＝伊豆市役所天城湯ケ島支所

児童が企画運営 宝探しやゲーム

三島でイベント

三島市子ども会連合会は27日、小学生が企画、運営を行う手作りイベント「子ども会フェスティバル」を市民生涯学習センターで開いた。

5、6年生有志でつくる「三島インリーダースクラブ・シーズ」が考えた宝探しやお化け屋敷といったゲームコーナーが並んだ。しおりやキーホルダーの工作体験などもあり、大勢の親子連れらでにぎわった。

子ども会の活動の振興を目的に毎年開催している。市立向山小6年の田中咲妃さん(12)は「みんなで考えたイベントを多くの人に楽しんでもらえてよかった」と話した。

子どもたちが考えたゲームを楽しむ来場者＝三島市民生涯学習センター

働いて〝給料〟買い物も

長泉に「こどものまち」

長泉町の子育て支援団体「なごみカフェ」（勝又瞳会長）は27日、子どもたちが職業体験や買い物を通じて社会、経済の仕組みなどを学ぶイベント「ながいずみニコニコタウン」を同町の桃沢野外活動センターで開いた。

学ぶ

特種東海製紙やJAなんすん、マックスバリュ東海など町内に本社や事業所のある企業・団体の協力で、施設内の各部屋にスーパーや文房具店、カフェ・町すを構成する燦々（さんさん）ぬまづ推進委員会は29日まで、「沼津自慢キャンペーン」と題

業を間近に控えた3年生に、株式投資と財務析を指導したアイザワ証券の出前授業＝下田市の県立下田高

沼津の地場産品 東京都庁でPR きょうまで

茶、戸田塩、ご当地パンの「のっぽ」などを販売。会場には深海魚の剝製や、同市が舞台

キリンハート模様探すと観覧車無料

東伊豆の動物園

標を分析して就職したい会社、投資したい会社を選んでほしい」と呼び掛けた。

アイザワ証券は同市に支店があり、賀茂地域の金融教育に協力している。

静岡新聞

た静岡新聞の

「静岡新聞広告賞」は、新聞広告の向上と発展を願って1980年に創設され、おかげさまで40回目のシーズンを迎えました。一層の意義向上のため、静岡新聞ファンの皆さまによる読者推薦を募ります。寄せられたご意見は一次審査の参考にいたします。「トップ記事が思い出せないくらい印象的」「身近な人との話題になった」そんな広告に出合ったら、ぜひお寄せください！

■推薦方法

推薦する新聞広告（日付、朝刊か夕刊か、広告主またはメインキャッチ）、その理由、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、はがき、ファクス、メールにてお送りください。

【はがき】〒422-8670　静岡新聞社営業局企画推進部「静岡新聞広告賞2019」係